

鉦屋町 町内会だより

あき顔プロジェクト 今年も始まりです

盛岡まち並み塾の主催する「あき顔プロジェクト」が今年も行われることとなり、7月1日に朝顔を植えたプランターを街道筋に配る作業を行いました。



福祉作業所「夢現舎ほのぼのホーム」で育てられた苗が運ばれてきます。

不定期発行
発行者 鉦屋町町内会
編集/文責/撮影 桂 汎用工房 脇田 桂一郎
印刷 小松総合印刷株式会社

川原町沿いに配る苗は、南大通3丁目町内会さんへお渡しし、配布をお願いします。



車に気を付けつつ、申し込みされたお宅の道路沿いに、プランターが並べられました。雨の多かつた梅雨が明け、暑い日々が続きますが、今年ほどどんな花を見せてくれるのか、楽しみにしています。

舟っこ流しつくり 7月9日〜23日

8月16日に向けて「舟っこ流し」の舟作りが始まりました。昨年に引き続き「棟梁」山本さんの指導を受けつつ、今年で2度めの製作となる岩崎さんが、作業の中心を担います。



7月9日、まずは舟っここの船体作りから始まります。まずは舟の底面を支える骨組みを切り出します。

側面の骨組みは、長さが5m以上になりますので、規格材の

3.6mを2本をつなげる必要があります。想像以上に大きさがあ



これらの部材を、船体の形に組み上げていきます。



組み上がった船体を裏返しに
します。今回は一緒に舟を支え
ていたため、このシーンを撮るこ
とができなかつたので、心を鬼
にして撮影に徹します。



「龍の首」を付ける板を立てま
す。この部分の角度修正に手間
を取られたことがあったので、
今回は水平垂直をきちんと出し
て固定しました。



合板を切り出し底板を貼って
いきます。
7月23日の午前で、この段階
まで出来上がりました。

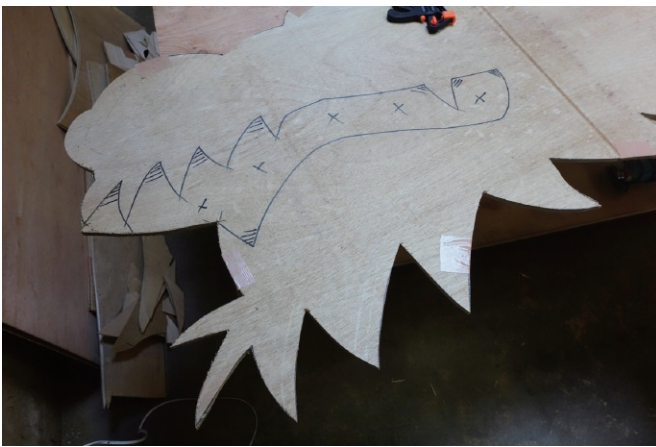


舟つこ流し 龍の首つくり

船体と並行して「龍の首」の
製作が、旧藤原家の車庫で行わ
れていました。

担当するのはヒツピの吉田政
弘さん、そして私、脇田が今年
は助手として関わりました。

2枚重ねた合板に型で線を引
き、ジグソー(曲線を切るこ
とができる電動ノコギリ)で切り
出します。



中間に骨を入れ、側面にも板
を貼ります。



更に型で模様の位置決めなど
をして、色を塗っていきます。





かなり進んでいるように見えますが、まだこれは片面だけです。裏返してもう一方の面も色付けするので、まだ続きます。



大慈寺小学校 地域学習会

大慈寺小学校教職員の方々の地域学習会が、講師に町内会顧問の大坊公二さんを招いて、7月21日に行われました。



ここは大慈寺の本堂。原敬の肖像画が飾られています。

今回は大慈寺を中心に、原敬と大慈寺の関わりや、舟つこ流しの開祖でもある、しほこ姫の墓などを巡ります。

その後、十六羅漢公園に移動、石仏の由来や意味を学びました。

暑い中でしたが、皆さんお疲れ様でした。



鉈屋町ベース ベースフェスタ 2023

就労継続支援B型事業所鉈屋町ベースでは、地域の方にこの施設を知ってもらいたいという事で、7月17日に「ベースフェスタ」が開催されました。



会場では様々なワークショップが行われています。これは、ハーブやアロマをブレンドして癒やしの香りを作るコーナー。



そして鉈屋町ベース名物「軍手のタイダイ染め」のコーナーです。カラフルな軍手づくりに、多くの親子さんたちが参加されていました。



7月9日資源回収

アリスさんの回収車が来るのが遅い気もしましたが、来たらあつという間に終わった感じでした。



今回の資源回収は9月10日となります。皆様のご協力をお願いいたします。



め組山車事務所開き



7月23日、め組の山車事務所開きが、大慈寺地区コミュニティ防災センターで行われ、関係者および地域の方々に、山車の奉納を行うことが報告されました。これで正式に、盛岡秋まつりへ向けて活動していくこととなります。



編集後記と

朝顔日記 2023

め組の山車事務所開きに初めて参加。股引とか足袋とかも初めて身につけました。



日本中で3〜4年ぶりに祭りが復活しているので、こういった衣装が品不足なのだ、石岡呉服店さんからお聞きしました。

7月22日夕方には、木津屋さんの駐車場で行われた「南大通2丁目青年会納涼祭」に行ってきました。これは駒木葬祭の皆さんが出店したかき氷屋。昔ながらの機械で、手回しで削るのが楽しそう。

前回の報告からだいぶ経ってしまった朝顔は、どんどん育って大きくなり、最初の花が咲き始めました。(桂)

